



春の夜空をながめてみよう

春は北斗七星を目印にして
いろいろな星が探せるよ！



いつごろ見える？

- 5月上旬 午後 10時ごろ
- 5月中旬 午後 9時ごろ
- 5月下旬 午後 8時ごろ

7つの星(北斗七星)と北極星

春から夏にかけて北の空に、ひしゃくのような形に星がならんだ北斗七星を見ることが出来ます。これはおおぐま座の腰からしっぽの部分にあたります。

北斗七星のひしゃくの先を5倍のばした先で光る星を北極星と言います。この星だけは、他の星が動いても北の空でほぼ同じところに見えるため、昔から方位を知る目印として親しまれてきました。北極星はこぐま座のしっぽの先にあります。

この時期、夜空では親子のくまが仲良くなっています。



- 5月中旬 午後8時ごろ 東の空
- 6月中旬 午後8時ごろ 東の空～頭の真上

星の色と表面の温度

高い	★ 青白
↑	★ 白
温度	★ 黄色
↓	★ オレンジ
低い	★ 赤色

大きな曲線を使って星を探そう

北斗七星の柄の部分のをばした先に、オレンジ色の明るい星を見つけることができます。これはうしかい座のアルクトウールスです。その先には白色の明るい星、おとめ座のスピカがあります。

北斗七星からこの2つの星をつないだ大きなカーブを春の大曲線とよびます。

この2つの星のように、星の色には違いがあります。その色は星の表面の温度によって決まっています。青白い星は温度が高く、赤い星は温度が低いことがわかっています。

夜空の星を見たときは、色にも注目してみましよう。